

23年ぶりの御神輿に地元が沸いた

村田夏祭り

村田三所神社に奉納されていた御神輿が23年ぶりに復活、7月15日・16日に開催された、地元の夏祭りでお披露目されました。

御神輿の復活に奔走したのが、村田地区の若者でつくる『村若』のみなさん。副代表を務める物井祐一さん（38歳）は「昔のようなまちの活気を取り戻したいという思いに、80人ものメンバーが集まりました。御神輿を通して地域の人たちが一体となり、また、子どもたちに夢を与えることができれば」と、したたる汗をぬぐいながら話してくれました。



杉山善司さんに農林水産大臣賞

第34回全国豆類経営改善共励会

国産豆類の生産振興を目的に実施された第34回全国豆類経営改善共励会において、杉山善司さん（50歳・野殿）が、大豆農家の部で農林水産大臣賞を受賞しました。杉山さんは平成16年に（有）山善農園を設立し、大豆経営の規模拡大や効率的な栽培管理を推進。17年度の大豆作付面積は40ヘクタールで、畑を耕さずに栽培する不耕起栽培などの新技術や、品質向上などに取り組んでいます。

「受賞は地域の人たちをはじめとする皆さんのおかげ。今後も地域の農業のために努力したいと思います」。



エンジョイサタデー『七夕コンサート』

県西生涯学習センター

7月8日、県西生涯学習センターで、『七夕コンサート』が開催されました。これは、同センターが実施する子どもたちのための体験活動事業『エンジョイサタデー』のひとつとして行われたものです。同センターのハーモニカ講座卒業生によるグループ『県西ハーモニカ・楽奏』や、女性コーラスグループの『こまくさコーラス』、幼稚園・保育園の年中組から小学生までで構成される『ちびっこ合唱隊』の3組が出演し、『七夕さま』や『花』などの曲を披露。見事な演奏と歌声に、来場者から大きな拍手が贈られました。



筑西あらかると

暮らしを考え まちを知りたい みんなの広場



おでかけガイド

詳細は変更になる場合があります。事前に確認しておでかけください。

8/12(土)から とびっきり! 夏フェア!

国営ひたち海浜公園 [ひたちなか市 TEL029-265-9001]
8月は全日開園 大人 400円 小人 80円 ▶ 8/27(日)まで
サイクリングラリー期間中毎日、茨城『食』の祭典 20日(日)

9/16(土) 中村 紘子 PIANO RECITAL

小山市立文化センター [小山市 TEL0285-22-9552] 月曜休館
S席 4,500円 A席 4,000円 B席 3,500円 開場午後5時
30分 開演午後6時 ※未就学児の入場はできません。

8/20(日)まで 夏の花まつり~親子体験教室

茨城県フラワーパーク [石岡市 TEL0299-42-4111] 月曜
休館 大人 740円 小人 370円 (小学生未満無料) バ
ラ、ヤマユリ、アメリカフヨウ、サルズベリなど夏の花が咲き競う。

9/16(土)から 家族の情景展 - 日本の家族を考える -

茨城県近代美術館 [水戸市 TEL029-243-5111] 月曜休
館 一般 830円 高大生 580円 小中生 350円 近現代美
術に表れた家族の情景を紹介、現代の家族問題に触れます。

9/3(日)まで 佐倉連隊にみる戦争の時代

国立歴史民俗博物館 [佐倉市 TEL043-486-0123] 月曜休
館 一般 830円 高大生 450円 小中生 250円 戦前の佐
倉の町は連隊と深いつながりを持ち、その関係を明らかにする。

9/24(日) 小椋 佳 Concert Tour - 未熟の晩鐘

結城市民文化センターアクロス [結城市 TEL0296-33-
2001] 火曜休館 開場午後5時 開演午後5時30分 全席
指定一律 7,000円 ※未就学児の入場はできません。

ぼくたち・わたしたち 1歳になりました

わが家のアイドル



笠原 禾帆ちゃん
8月5日生(女方)



渡邊 莉央ちゃん
8月5日生(旭ヶ丘)



廣沢 友也くん
8月6日生(蓮田)



皆川 權吾くん
8月6日生(下平塚)



石川 麗ちゃん
8月8日生(蓮沼)



村上 楽翔くん
8月8日生(野殿)



関口 康誠くん
8月10日生(鷹場町)



宮川 純怜ちゃん
8月10日生(富士見町)



菊地 心響ちゃん
8月12日生(小川)



染野 実鈴ちゃん
8月12日生(岡芹)



水上 太晴くん
8月12日生(泉町)



須藤 美琴ちゃん
8月17日生(小川)



伊沢 凜夏ちゃん
8月18日生(女方)



小田部 輝くん
8月18日生(稲野辺)



中山 陽樹くん
8月19日生(南町)



安西 星くん
8月20日生(幸町)



篠崎 陽夏ちゃん
8月20日生(茂田)



亀田 萼花ちゃん
8月22日生(女方)



柴山 凌駕くん
8月22日生(岡芹)



賀川 楓ちゃん
8月27日生(島)



上原子 由麻ちゃん
8月27日生(小川)



日向野 佑菜ちゃん
8月30日生(蓮沼)



矢野 愛美ちゃん
8月30日生(藤ヶ谷)



五十嵐 璃莉ちゃん
8月31日生(築地)

平成17年10月生まれのお子さんの写真を募集しています。
写真裏面に①お子さんの氏名・ふりがな・生年月日・性別 ②
保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号を明記し、8月31日(木)
までに市広報広聴課へ。応募者多数の場合は抽選とします。



関城東小学校

児童数482人



まつもと まき
松本 真紀

将来は医者になって病気の人を治してあげるのが夢。明るくてお年寄りにやさしいまちなるといいな。



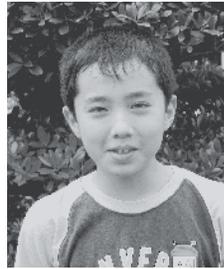
さいとう ひろたか
齋藤 大貴

今、空手を習っているので、茨城一強い空手の先生になりたい。緑のたくさんある豊かなまちになってほしいな。



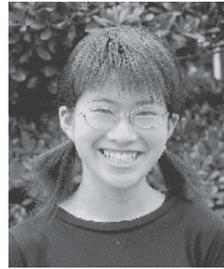
なかざわ みほ
中澤 美穂

漫画を描くことが大好き。将来は、漫画家になることが夢。みんなが仲良く安心して暮らせるまちにしたいです。



みやざき ゆうや
宮崎 裕也

ぼくは将来、小児科の医者になりたい。子どもたちがずっと元気で暮らせる明るいまちにしたいです。



かつぬま あきこ
勝沼 綾希子

子どもといっしょに楽しく活動できるやさしい保育士になりたい。お年寄りも安心して暮らせる市がいいな。



かわしま りょう
川嶋 怜

ぼくの将来の夢は、サッカーのワールドカップの主審を務めること。スポーツが盛んなまちにしたいです。



たせ ゆうすけ
田 畝 裕介

将来は、ぼくの考えたおもちゃで、みんなを乐ませたい。そして明るいまちになってほしいです。



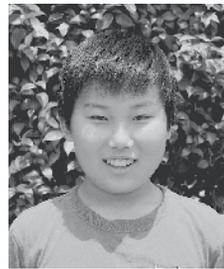
みやかわ ゆい
宮川 裕衣

私の将来の夢は、看護師として病気の人の看護をすること。元気な人が多いまちにしたいです。



いちむら あゆみ
市村 鮎実

私の将来の夢は、捨て犬や猫などを保護する団体に入り、筑西市を小さな命も大切にすまにしたいです。



こぐすり なおや
小葉 直也

ぼくの夢は建築家です。ぼくが建築家になったら大きな地震にも負けない安全なまちにしたいです。

竹島小学校

児童数228人



8月27日に『NHKのど自慢』が開催される下館総合体育館

暑い季節の開催ですが、スタッフのみなさんがんばってください。番組の成功を祈っています。(外塚・主婦)

もちろん観覧希望のハガキを何枚も出しました(魂を込めて)。ぜひ、生で番組を観覧してみたいと思います。もしはずれても、私の住む筑西市が全国のみなさんに『元氣』を発信する様子をテレビで応援したいと思います。

8月下旬に『NHKのど自慢』が筑西市にやってきました。私は、この番組が大好きで、毎週欠かさず見えています。出演する元気な高校生のグループや年齢を感じさせない、はつらつとしたお年寄りに毎回元気をもらっています。

『のど自慢』楽しみです

日ごろの暮らしの中で思っていることを投稿してください。匿名可。広報広聴課まで

おたより

スナッフ

願い事が叶いますように 子育て広場で七夕祭り

「おむつが取れますように」、「たくさんお友だちができますように」。かわいらしい短冊を笹の葉に結びつけて、お願い事をしているのは、関城支所で開催されている『子育て広場』のちびっ子たち。子育て広場では、若いお母さんの育児の疲れや悩みを軽減しようと、ベテランの「子育てアドバイザー」のみなさんがボランティアで参加してくれています。



日本ジュニアアトリアスロン選手権大会に挑む
北島 礼子さん (中根)



「トライアスロンとの出会いは小学5年の時。スイミングスクールのコーチに勧められたのがきっかけです。市内にはトライアスロンチームがないので、専門のコーチから指導を受けたことはありません。何の知識もないところから始め、両親と手探りで練習を続けています。現在は、20歳以下の選手が参加して8月6日に行われる『日本ジュニアアトリアスロン選手権長良川大会』に向けて準備中。目標は、3位以

内に入って世界選手権の出場権を得ることです」と語るのは、下館第一高等学校2年の北島礼子さん。北島さんは、5月に行われた『第20回潮来トライアスロン全国大会兼第11回全日本大学選抜大会』で一般女子3位の成績を収めるなど、将来が期待されるアスリート。彼女が挑むトライアスロンは、スイム(水泳) 15kmとバイク(自転車) 40km、ラン(ランニング) 10kmの3種目を続けて行いタイムを競うスポーツで、2000年のシドニー大会からはオリンピックの正式種目にもなっています。

「まわりからは、『なぜそんなつらい競技をやっているの』とよく聞かれます。確かに競技中は苦しくて、もう二度とやりたくないと思うほど。でもゴールの瞬間には、味わったことのある人にしかわからない達成感があります。つらいけれど、こんなに楽しいスポーツはないですね」。

—— ゴールした時の達成感、それがトライアスロンの魅力です ——

ぶらり 真岡鐵道の旅



C11325号 (C11型)

下館駅を出発して、わずか16分、栃木県内最初の駅、二宮町の『久下田駅』に到着します。久下田駅は、明治45年に開設され、平成6年に現在の駅舎に改築されました。駅には、多目的施設「さくらホール」が併設され、鉄道利用者だけでなく、町民の憩いの場としても利用されています。また、駅名の久下田の「クゲ」とは「鶴」とつまり白鳥のこと。白鳥が地域の水田に住み着いたことに由来するそうです。



末期に活躍した、二宮尊徳と大変ゆかりのあるところなのです。二宮尊徳こと金次郎といえは、薪を背負って読書をする像はあまりにも有名で、誰でも知っていることでしょう。特に、ここ二宮町においては、町名の由来となるなど、人々に影響を与え、今も変わらず尊敬され続けています。

『資料館』で二宮尊徳を知る

まずは、二宮尊徳の偉業から学んでみましょう。それには『二宮尊徳資料館』がおすすです。久下田駅から車で約10分、桜町史跡公園内に平成12年に開館しました。館内には、尊徳の生い立ちを記した

年表や桜町（現在の二宮町及び周辺地域）の復興事業の様子などがパネル展示してあるほか、直筆の書物や村々を回ったときに身につけていた『陣笠』や『脚絆』、また、農民の生産意欲を高めるために褒美として与えた、『出精褒美唐鋏』や『出精褒美弁当箱』など、尊徳ゆかりの品々が展示されています。

『桜町陣屋跡』で歴史に触れる

同じ公園内にひっそりと佇む、茅葺屋根の建物とその周辺が桜町陣屋跡（国指定史跡）です。この陣屋は小田原藩大久保家の分家である宇津家が桜町を統治するために、1699年（元禄12年）に創設し、以来1871年（明治4年）まで172年間に渡って使用された役



桜町陣屋跡（国指定史跡）見学無料

また、陣屋跡内には、仕事を終えた尊徳が足を洗ったといわれる足洗池や、遺髪が奉じられている尊徳の墓、尊徳の娘・ふみの墓などもあります。二宮町では桜町史跡公園を中心に尊徳にちなんだ、さまざまなイベントを開催しています。尊徳の精神が息づく二宮町をゆつくりと訪れてみてはいかがでしょうか。



資料館前の二宮尊徳像

尊徳ゆかりの里を歩く

久下田駅を降りて、すぐ目に飛び込んでくるのは、『二宮尊徳（金次郎）』の大きなブロンズ像。そして駅前商店街の街灯には、薪を背負った金次郎のかわいらしい人形がずらり。そう、ここ栃木県二宮町は、「いちご」の産地としても有名ですが、それ以上に、江戸



桜町陣屋跡に隣接する二宮尊徳資料館 (Tel.0285-75-7155・入場無料)

- 茂木
 - 天矢場
 - 笹原田
 - 市塙
 - 多田羅
 - 七井
 - 益子
 - 北山
 - 西田井
 - 北真岡
 - 真岡
 - 寺内
 - 久下田
 - ひぐち
 - 折本
 - 下館二校前
 - 下館
- は SL 停車駅

